

# MP 健全度評価基準

## I. 評価項目

次の評価項目を効果的に選択し、評価を行う。

### 《運転状況 評価》

試運転を行った上で、動作状況や設置状態等を把握する。

### 《物理面 評価》

錆、変形、亀裂などを部品単位（ポンプ本体は設備単位）で診断する。

### 《機能面 評価》

規定数値等があるものは、測定を行い評価する。

### 《時間面 評価》

目標耐用年数が経過したものは、機能停止予定として評価する。（健全度2.0）

### 《メーカーサポート 評価》

メーカーの部品供給が可能か、メーカーヒヤリングにより機器の保守状況の確認を行い評価する。

## II. 改築の必要性の判断

健全度の基準より、対象設備の改築の必要性を判断する。検討対策別の健全度の判断基準は、次のとおりである。

- ①長寿命化対策検討設備は基本的に「主要部品単位」で健全度評価を行い、健全度2.0 以下となった場合に、改築対象設備とする。
- ②長寿命化対策検討設備において、汚水ポンプのように、設備を分解しないと内部の主要部品を確認できない設備については、「設備単位」で健全度評価を行い、健全度が3.0 以下となった場合に、改築対象設備とする。
- ③更新対策検討設備は、「設備単位」で健全度評価を行い、健全度が2.0 以下となった場合に、更新を行うものとして改築対象設備とする。

表. 改築の必要性の判断

長寿命化対策の有無	評価単位	改築の必要性を示す健全度の判断基準
長寿命化対策 検討設備	主要部品単位	「健全度 $\leq 2.0$ 以下」となった場合に、長寿命化 又は更新を行うものとして、改築対象設備とする。
	設備単位	「健全度 $\leq 3.0$ 以下」となった場合に、長寿命化 又は更新を行うものとして、改築対象設備とする。
更新対策 検討設備	設備単位	「健全度 $\leq 2.0$ 以下」となった場合に、 更新を行うものとして、改築対象設備とする。

### Ⅲ. 各設備の評価分類

長寿命化対策の有無	評価単位	MP 設備	評価項目
長寿命化対策 検討設備	主要部品単位	制御盤	メーカーサポート・機能面・運転状 況・物理面
		発電機	メーカーサポート・機能面・運転状 況・物理面・時間面
	設備単位	ポンプ本体	機能面・運転状況・物理面・ メーカーサポート
更新対策 検討設備	設備単位	水位計	メーカーサポート・運転状況・物理 面
		フロート スイッチ	メーカーサポート・運転状況・物理 面
		B T	メーカーサポート・時間面